

ひかりの園だより

ともしに

第62号

発行日：平成26年12月

編集：法人本部事務局



社会福祉法人 ひかりの園



盲老人ホーム第二静光園のご利用者の皆様。
梅の香りを楽しみ、直接花に触れての観梅を楽しみました。



昭和58年 根洗作業所開設の時の6人の仲間たち

本当にあつという間の二十五年でした。私もいつの間にか還暦も過ぎてしまいました。根洗学園の時代から永く付き合っているご利用者もそろそろ五十歳代に入ろうとしています。ご利用者とともに長くお付き合いをさせていただいている親の会の方々も、ずいぶん高齢になりました。

浜松協働学舎の前身である根洗作業所が六人の仲間が始まったのは、昭和五十八年でした。当時は、根洗学園の運動場にプレハブの作業棟をつくって、働くための場所をつくりました。根洗作業所は、次々と根洗学園や養護学校を卒業してくる人たちを受け入れ、二年目には十八名、三年目は二十名を超える大所帯になりました。いつまでも根洗学園を借りするわけにもいかず、資金のめども立たないままに新施設の建設を決めたのが、昭和六十二年の春でした。親の会と職員が丸になって、バザーやコンサートや募金活動を展開しました。当時のひかりの園理事長の故山田修先生



浜松協働学舎開設、32人の仲間たちでスタート
根洗学園から独立、新しい施設の生活が始まりました。

ループホームがあり、まさに地域に溶け込んで日々の活動や暮らしが営まれています。人々を孤立させたり、排除するのではなく、すべての人を社会の構成員として包み、支え合うことの理念を「インクルージョン」と呼びますが、根洗町ではすでにインクルーシブな地域が実現しているといえるのではないかと私は思うのです。

浜松協働学舎の「協働」とは、共に働く・協力する・共演する・合作する・共同するなどを意味します。コラボレーションと言い換えた方が分かりやすいかもしれませんが、人は皆違うのです。異なるからこそ、それぞれに役割や使命があり、協力して支え合うからこそ、豊かな人間たちの地域社会が生まれるのです。

が「浜松協働学舎」と命名した施設は、当時の小規模授産所である根洗作業所と重度障害児者生活訓練ホームである青葉の家の二つの施設が複合した施設として建てられました。特に、どんなに障害が重くても利用を拒まない青葉の家には、養護学校を卒業する重度障害のある人たちの希望が殺到しました。浜松協働学舎開設の年目には、いっぺんに施設が手狭になってしまいました。そこで、地域のニーズに応えるために、平成五年には第二青葉の家を開設しました。

第二青葉の家の建設には本当に苦労しました。不動産業者が紹介した候補地は、立地条件はよかったです。隣接住民の理解が得られませんでした。困っていたところに根洗町自治会の役員の方々が支援の手を差し伸べてくださいました。当時の故荒川憲一自治会長は「反対されてまで他の町に行くことはない。根洗町でおやりなさい」と、施設の敷地の提供を町内の人々に呼びかけてくださいました。その結果、「どうぞうちの土地を使ってください」と四人の方からお申し出をいただきました。この時の根洗町の皆様の暖かいご支援があつてこそ、今の浜松協働学舎があります。今も地域の皆様へは感謝の気持ちでいっぱいです。四つの候補地からバス停が一番近い場所

浜松協働学舎二十五周年を迎えるにあたり、私たちは「浜松協働学舎」の名前に誇りを感じ、もう一度「協働」の意味を問い直し、新たな歩みを始めたいと思います。

浜松協働学舎企画相談室長 高木誠一



地元の皆様のご協力で誕生した第二青葉の家



グループホームほっぷ施設を出て、地域の中で暮らそう！

浜松協働舎の事業

●働く・活動の場

根洗作業所・青葉の家・工房めい・工房だん・工房ゆう

●暮らしの施設

浜松協働学舎根洗寮

●グループホーム

ラポール根洗・すてっぷ・ほっぷ・こもれび・ぱれっと
コムニオ湖東（平成27年4月開設）

●相談支援

相談支援事業所まど

●在宅者支援

短期入所・日中一時支援（根洗寮）

●手作り陶器・手作りクッキー・

しまうま倶楽部



浜松協働学舎建設のためのチャリティコンサート。
仲間たちが一番活躍しました。

を選んでお借りすることになり、第二青葉の家の建設計画が再スタートしました。当時は、開発許可や農地転用も静岡県に許可権があつた時代で、要件はとて厳しく、手続きには二年かかりました。難産の末に誕生した第二青葉の家は、障害のある仲間たちと地域の方々が直接交流できる場所として、今もその役割を続けています。陶器のお店やパンのお店には絶えず地域の方々が訪れてくださっています。

浜松協働学舎では、その後も、第二根洗作業所、浜松協働学舎根洗寮、ラポール根洗、工房めい、すてっぷ、ほっぷ、こもれび、ぱれっとと、毎年のように根洗町内に福祉施設を建設してきました。建設をすすめる度に地元の皆様の深いご理解とご支援をいただき、町内の街角、街角に作業所やグ



クレーンが建設地に高く伸びる

第三静光園 完成間近です。

昭和六十年に、ひかりの室やリビングの構成、「向この三番目の老人ホームう三軒両隣」的な馴染み深い園として誕生した第三静光園との関係を保てる十人毎のユニットを4つ設け、それぞれ遷、高齢者の生活の多様化のユニット毎に暮らしに彩りを感じていただけるようから、来年には開園三十周年を迎えようとしています。三十周年事業として、ひかりの園では初めての「ユニット型個室」四十床を現在建築中ですが、前述した様々な変化の中でも特に高齢者の生活の多様化、その高齢者を取り巻く家族の核家族化を真正面からとらえ、ご利用者一人ひとりの生活習慣や好みを尊重し、今までの暮らしが継続できるようにケアすることを主眼に置いたものを考えています。また、これまでの施設もリノベーションして、四人部屋、二人部屋、個室という暮らしを選択できるものにしていきます。増築部分はユニットケアの特性を生かすためにも、一般家庭には存在しない、施設独特の広々とした非現実的な空間は極力避け、あくまでも一般住居をお手本とした「手を伸ばせば何かに届く」をコンセプトとした居

2015年 地域に育まれて30周年

来年4月 新施設増築オープン!

入居・短期利用 早期ご相談 承り中!

オープニング 職員募集中 (正規・パート)

特別養護老人ホーム

第三静光園

053-437-8288

今すぐお電話を! 北区根洗町681番地の4

個室30部屋を増築!

カワセミの 棲む里

考えてみて下さい。だからこそ、今あなたが考えている「やってみたい介護」を実現できるチャンスが充分にあるということなのです。介護は初めてという方もおいでになるでしょう。介護技術は時間が経てば身に付き ます。親切に教えてくれる先輩も大勢います。人の痛みを感じ取るうとすること、人の心に寄り添うこと、そうした事に常に情熱を持って取り組んでいける。そんな気持ちを持っていてくれる方なら安心して飛び込んできてください。

第三静光園園長 栗本昌紀

クレーム対応を学ぶ

平成二十六年 度 社会福祉ひかりの園

法人職員合同研修会を開催しました

今年度の社会福祉法人ひかりの園合同職員研修会は、八月十六日に浜松市教育会館を会場に、「クレーム対応」をテーマに開催しました。法人の各施設の職員九十名が参加しました。法人の各施設では、ご利用者に安心して満足していただけるサービスを提供するために日々努力していますが、ご利用者の意にそぐわずに、ご本人やご家族からクレーム(苦情)を受けることもしばしばあります。ひとつのクレームはその背後に同様の表に出ないクレームがたくさんあるといわれています。満足度の高いサービスを実現してクレームをまず防ぐことが基本ですが、クレームは施設改善のチャンスだととらえて真摯に受け止めることも大切なことです。

福祉専門学校では介護や援助の方法は教えますが、挨拶や電話での対応、クレーム対応等のビジネスコミュニケーションは職場で教えないと身につかないスキルです。各事業所では初任者に先輩が直接指導してビジネスマナーを教えています。今回は法人全体で「クレーム対応」について学び共通の対応ができるようにしよう、管理職から初任者までの幅広い職員が集まった合同研修会となりました。講師には、全国社会福祉協議会やスズキ自販等で接遇研修やコミュニケーション研修の講師として活躍されている平井智子先生をお招きしました。

業務改善のヒント

研修はロールプレイング(役割演技)を中心に、4時間をかけて行われました。前半は、電話の応対や挨拶の基本、報告や申し送りの方法、謝罪の伝え方など基本的な接遇とビジネスマナーを学びました。後半は実際にご家族からクレームが寄せられた場面を想定し、ご家族の立場クレームを受けける職員役を演じ、やりとりの疑似体験を行いました。ロールプレイングを体験して、コミュニケーションをうまく図るため



活気のある研修会場

には、まず相手の心情を受け止める、相手の話に耳を傾けて聴くことが何よりも大切だと感じました。また、クレーム対応は接遇の姿勢が第一だといわれますが、いくら誠意を持っていても、それを実際のコミュニケーションとして表現できなければ相手には伝わりません。接遇については常に自分を磨いていくことが職員には求められていると思えました。ご利用者やご家族にご指摘いただいた事柄の中には、業務改善につながるヒントが散りばめられていることがあります。頂戴したクレームは全職員で共有して、クレームを活用し、ご利用者の満足度の向上につながるよう福祉サービスの質を求めていくように、クレームを前向きにとらえることが、もつとも大切であると思えます。



電話対応もにこやかに

浜松協働学舎親の会 福祉講演会

杉山登志郎先生をお招きします!

日時:平成27年 2月 1日(日)

会場 13:00 開演 13:30

場所:浜松科学館 1階ホール

主催:浜松協働学舎 親の会

一般参加費:1000円

事務局:浜松協働学舎根洗寮 美和

TEL:053-430-0596



次世代を担う 法人リーダー職員研修を開催しています。



昨年に引き続き、今年も高室成幸先生を講師としてお招きし、全三回の研修を実施しています。話す技術や聞く技術、討論する技術など内容は多岐にわたり、職員のスキルアップを目指します。

私たち、ひかりの園の職員です。



工房だん
掛井直樹

根洗寮（工房だん）にて日中活動の支援をしています。根洗寮、青葉の家と異動し、平成20年の工房だんのリニューアルに合わせ、根洗寮に戻ってきました。

体を動かすことが大好きで、ご利用者と毎日10km散歩に出ることを日課としていましたが、だんだん時間もとれなくなり、それでも日に1時間位は一緒に散歩に出ることを心掛けています。

毎年12月が近づいてくると、ご利用者が楽しみにされている年一回の旅行があります。旅行も年々豪華になり、一昨年は神戸にディナークルーズへ、昨年は北海道に行ってきた。最近では保護者の皆様、根洗寮の職員の皆様からの「今年はどこに行くの？」が、ささやかなプレッシャーになっています。今年もどんなサプライズ旅行にしようか？現在思案中です。いましばらく静かに見守っていただきたいと思っています。

休日は、中学1年生の長女、小学校4年生の次女の部活等の応援で走り回っています。

先日も午前中は静岡へ、午後から浜松で応援ということがありました。仕事もプライベートも走り回っているので、いつかのんびりできる日が来るといいなと思う今日この頃です。



根洗学園
中村亜未

毎日通園の年中グループ、併行通園の子じか年中グループを担当しています。また、毎月2回土曜日と月4～5回平日に療育・ことばの教室を行っています。今年度から保育所等訪問支援事業や保育所等巡回支援事業にも同行しています。言語聴覚士は、病院勤務が主です。そのため、約2週間に1回～月1回の頻度でしか子ども達と会えません。療育の施設では、毎日子ども達に関われること、日常生活から一緒に取り組めることができます。また、子ども達の集団の様子やことばの教室等1対1でじっくり関われることも学園の魅力です。あそんでいる時に目が合うことが増えたと感じたり、友達が泣いていると近寄り頭を撫でて「どうしたの？大丈夫？」と心配する姿が見られる等子ども達の気持ちの表現を意識して見るようにしています。部屋移動の時に手を繋ぎたかった友達を誘えず、その場に座り込んだ子がいました。「○○ちゃんで行きたかったの？」と聞くと頷き、「一緒に手つなごうと誘っておいで」と伝えると上手に伝えられることができ、笑顔が見られました。子ども達の気持ちを表現する方法を伝えていけるようになります。

休日はディズニーにシーズン毎に行ったり、高校・大学の友達と山梨へ桃狩りやリニア・鉄道館、パラグライダー等行きたい場所、やりたいことをして過ごしています。ダンスも始め、小学生から70歳代まで様々な年齢の方とお話することも楽しみの1つです。



なごみの家
谷村真紀子

こんにちは。『なごみの家』の介護職員として働いています。『静光園』から『なごみの家』に異動して6年目に入りました。ご利用者のペースでゆっくりと時間が流れ関わっていく中でたくさんの方に気づかされます。長く生きてこられたからこそ素晴らしい知恵や自分とは違う価値観であったり、社会や家庭から必要とされなくなっていく寂しさや時代の流れなど、いろいろなことを考えさせられ多くを学んでいます。

私はよく休みを利用して、娘が2歳の頃から一緒に『なごみの家』に遊びにきています。ご利用者とかるたをやったり、宿題を教えてもらったり、ときには娘の行動を心配して後を追いかけてやってくれるときもあり、温かく受け入れてくれるご利用者と職員の皆さんに日々感謝しています。そんな長女も小学2年生、長男は二十歳となり、少しずつ自分の時間が持てるようになりました。今まで趣味でやっていた似顔絵や仏画に加え、今年の4月からはパステルのインストラクターの資格を取る勉強も始めました。職場でも趣味を生かしてお年寄りや娘と一緒に楽しんでいきたいと思っています。



三方原りんご園様 りんご生ジュースをありがとうございました

浜松市北区根洗町にある三方原りんご園さんより、りんごの生ジュースをいただきました。「りんごジュース飲もうね」と職員から声がかかると、おいしいジュースを励みにしてお着替えや朝のお支度を済ませていました。一口飲んで「おいしいよ！Aちゃんも飲んでごらん！」と、おいしさをお友達同士で共有しようとする姿もみられました。おいしいジュースをありがとうございました。

- 根洗学園 -



公益信託小川忠孝老人福祉基金様 助成金をありがとうございました

助成金を頂き、車椅子を購入することができました。セミモジュールタイプの車椅子なので、個々の体型に合わせて調整することができ、ご利用者にも好評です。ありがとうございました。

- 第三静光園 -



浜松造園緑地組合植木剪定ボランティア様 剪定してくださりありがとうございました

8月23日、14名の浜松造園緑地組合植木剪定ボランティアさんが、川沿いの道路に面した南側のプレイグラウンドの木々を剪定してくださりました。中には今年で12年目となる方もいらっしゃいました。たくさんの方が心を込めて手作業で剪定していただいた木々に囲まれ、子どもたちは三輪車や追いかけてっなど笑顔で駆け回っています。ありがとうございました。

- 根洗学園 -



(有)浜一防災設備様 発電機の寄付ありがとうございました

防災用品や消防設備でお世話になっている(有)浜一防災設備さんよりカセットコンロ用のガスボンベで動かす発電機をご寄付いただきました。ありがとうございました。

- 第三静光園 -



平成25年度 苦情内容等施設別報告

◎苦情（要望・提案等を含む）受付状況（H25年4月1日～H26年3月31日）

内容	静光園	第二静光園	第三静光園	根洗寮(ばれっと)	根洗作業所(ラボ)	青葉の家(こもれび)	すてっぷ	工房ゆい	まど	根洗学園	たっく
説明・情報提供不足										2	3
手続き方法の不明											
サービスの内容	2	3	2	5	2	3			4	2	
職員の言葉・態度	1			1					2	3	
権利侵害	1										
被害・損害										2	
利用者間のトラブル		3				1					
環境の問題										1	
その他								1			
合計	4	6	2	6	2	4	0	1	6	10	3

第二静光園 苦情・相談等の報告

- ①平成26年5月28日(水)懇談会にて ご利用者より
【お箸を替えてから、細くなったように思います。野菜が柔らかく、つかみにくいです。スプーンは金属製では音が出るので、プラスチックのものにしてほしいです。】
(対応)
お箸は、従来の太さに最も近いもので購入しました。プラスチックのスプーンは、洗浄で欠けてしまうことがあり危険のため、施設では金属製のものを使用させていただいていることを説明し、ご理解をいただく。
- ②平成26年7月2日(水)懇談会にて ご利用者より
【消灯近くや起床前に、他の部屋で話している声になります。また、留守中に人の部屋に入っている方がいるようですが、良いのでしょうか。】
(対応)
21時の消灯から6時の起床までは、大きな声での会話はご遠慮いただくようにします。また留守中に他者の部屋への入室は望ましくないと伝え、ご理解いただく。

支援のワンポイント

自閉症スペクトラムの理解



自閉症スペクトラムとは、知的に重い障がいに伴う『自閉症』や知的障がいを伴わない『高機能自閉症』さらに言語発達の遅れも伴わない『アスペルガー症候群』が含まれ、知的障がいレベルや自閉症状の強弱によって連続する広汎性発達障害と捉えた概念をいいます。「スペクトラム」とは日本語で連続体という意味です。虹は赤から紫に変わりますが、境界線はなく、グラデーションしています。そんなふうに自閉症も明確な境界は存在せず、「自閉症」の連続体なので『自閉症スペクトラム』と呼ばれています。

いずれも共通点は、①「人との関わりが苦手」 ②「コミュニケーションが苦手」 ③「想像力の障がいからくるこだわり行動」と云われます。

【人との関わりが苦手】

人の視線を合わせてその表情を読み取ったり、そぶりや雰囲気から気持ちを察したりすることが苦手です。そのために、状況を読むことが出来ない中で言動が、人には奇異に映ることがあります。また、友達関係に興味を示さず、年齢相応の仲間関係が出来にくいといわれます。そのため、一人遊びが頻繁に目立ちます。でも人が嫌いではなく、刺激の少ない落ち着いた環境で、何をすればよいのか決まっていれば安心して人との関わりが持ちやすくなると思います。

【コミュニケーションが苦手】

話し言葉の遅れや欠如で他者とコミュニケーションをとることが困難だけでなく、身振りや表情、声のトーンなどの非言語的な情報を理解することが苦手で、逆に一方的に喋り捲ったり、話が飛んだり意味あるコミュニケーションが取りにくい人達もいます。

でも、本当は人との関わりを求めているわけではないわけではありません。苦手な耳からの情報ではなく、目から入る視覚的な手掛かりがあれば通じ合う事が可能です。

【想像力の障がいからくるこだわり行動】

興味関心の範囲が狭く、同じ遊びや物、パターン化した行動にこだわる場合があります。また、同じ服や物、物の置き方、道順や活動の手順にこだわります。このことは、想像力がないわけではなく、その使い方に問題があるといわれます。偏った発想に陥りがちになり、その結果場違いな行動や「こだわり」になってしまいます。しかし、そのセンスは芸術活動に特異な才能を発揮することもあります。

このように「自閉症スペクトラム」の人達は、頭の中に糸が絡み合った生きづらい世界と、こころ豊かな世界観を持ち合わせているとも言われます。

彼らの事をもっと知ってもらうために、浜松協働学舎親の会では、来年2月1日（日）午後から浜松科学館ホールにおいて浜松医科大学の杉山登志朗先生をお招きし、公開講座を予定しています。ぜひ、かれらの豊かな世界観に触れてみませんか。

社会福祉法人ひかりの園の概要

理事長 川島順三

法人本部 事務局長 太田敏明

〒433-8108 浜松市北区根洗町 681-5

TEL(053)437-8289 FAX(053)430-0819 Eメール info@hikarinosono.or.jp

特別養護老人ホーム 静光園 園長 山中康義 ☎ 053-445-1300	養護老人ホーム 第二静光園 園長 佐藤三四二 ☎ 053-428-3128	特別養護老人ホーム 第三静光園 園長 栗本昌紀 ☎ 053-437-8288	小規模多機能型居宅介護事業 なごみの家 管理者 鈴木佐知子 ☎ 053-445-1753	手作り陶器・手作りクッキー 焼きたてパンのお店 しまうま倶楽部
児童発達支援センター 浜松市根洗学園 園長 松本知子 ☎ 053-436-9318	子ども発達センター たっく 園長 松本知子 ☎ 053-485-6122	生活介護 根洗作業所 所長 深見 誠 ☎ 053-436-5529	生活介護 青葉の家 所長 犬塚 淳 ☎ 053-570-1700	第二青葉の家併設店舗 三方原霊園バス停の東側です。 ☎ 053-439-8235
生活介護 工房めい 所長 鈴木秀明 ☎ 053-430-4710	生活介護 工房ゆう 所長 鈴木秀明 ☎ 053-570-1310	障害者支援施設 浜松協働学舎根洗寮 寮長 高木誠一 ☎ 053-430-0596	グループホーム ラポール根洗 寮長 深見 誠 ☎ 053-420-1325	
グループホーム すてっぷ・ほっぷ 寮長 櫻井裕美 ☎ 053-570-1702	グループホーム こもれび 寮長 犬塚 淳 ☎ 053-439-6800	グループホーム ぱれっと 寮長 高木誠一 ☎ 053-420-0250	相談支援事業所 まど 所長 高木誠一 ☎ 053-570-1312	
ひかりの園ホームページ http://www.hikarinosono.or.jp/				

編集後記



建部泰亨

今年度から編集委員になり、自分の施設以外の職員と顔を合す会議の場はとても新鮮です。まだまだ力不足ですが、『ともに』を通じて、皆様に「ひかりの園」がより身近に感じられるように伝えていきたいと思っています。